

音楽療法 ちょっといい話

ベランド睦美

米国で情緒障害児短期治療施設で一年間実習しました。

13歳で妊娠したり、親から虐待を受けて逃げてギャングに入ってトラブルになった子など10代の女の子が暮らす施設だったため、英語もしどろもどろの私は彼女らの恰好のターゲットでした。話しかけても無視されたり、上から目線で発音を直されたり、笑われたりと泣きながら帰る毎日でした。

他言語の国に住むということは、大人なのに自分の言いたいことが通じず周りから笑われたり、何もわからない子どものように扱われたりと、すごく不自由でみじめな思いもします。彼女たちは、気持ちを理解してもらえば物のように扱われたり、周囲から愛されずに育つ、などと困難さは違いますが私が今感じているようなみじめさを抱いて生きてきたのだ、とある日ふと気付きました。

それからは笑われても、からかわれてもあまり気にしなくなり、彼女たちと少しずつ音楽を通じて対話できるようになりました。一緒にドラムをひたすら叩いて笑い合ったり、ピアノで即興演奏をしたり、彼女たちの好きな歌と一緒に聞きながら話をしました。すぐに退所になる子もいたので、一回でセッションが終わることもありましたが、心の中で彼女たちが「愛を感じられますように」と思いながらセッションをしました。実習が終わる時には、一人の子が「私のこと忘れないでね」と自分の写真をくれました。

音楽療法とは、音楽を通じて自分が愛されていると感じられる時間であるべきだ、と個人的に強く思うにいたった経験でした。それを毎回思いながら今もセッションを行っています。

第32号

会報

NPO 法人 青森音楽療法研究会
2015年4月



音楽療法セミナー'14 - I・II・III

ごあいさつ

NPO 法人青森音楽療法研究会理事長 佐々木 純子

そして、国立障害者リハビリテーションセンター病院の渋屋康則先生には、発語や失語・嚥下(飲み込み)についての基本的な理論を学び、言語聴覚士の視点から音楽療法での取り組みを解説していただきました。

セミナーには、研究会員だけでなく、ハンディを持つお子さまを育てていらっしゃるお母さま方や施設・病院、そして学校に勤めていらっしゃるたくさんの皆様にも参加していただくことができました。ありがとうございます。

私たち NPO 法人青森音楽療法研究会は、会員の学びを深めるためこのようなセミナーを毎年開催し、皆様の心身の健康に役立つよう、音や音楽を県内各地に運んで行きたいと思っています。どうぞ、今後も変わらぬご指導とご協力をお願いいたします。

入会のご案内

NPO 法人青森音楽療法研究会では、音楽を通して皆様の“こころ”と“からだ”がより健やかであるよう実践・研究しています。
私たちの活動に賛同し、共に活動できる方あるいは活動を支援してくださる方であれば、どなたでも入会できます。皆さまのご協力をお願ひいたします。

どなたでも 参加できます

- ♪ 正会員（個人・団体）
=活動に直接関わりたい方あるいは団体
- ♪ 学生会員（個人）
=学生で活動に関わりたい方
(正会員になることもできます)
- ♪ 賛助会員（個人・団体）
=活動には直接関わらず、
会を応援してくださる方あるいは団体

会費

会員区分	入会金（円）	年会費（円）
正会員（個人）	5,000	5,000
”（団体）	5,000	1□5,000円で 2□以上
学生会員	2,500	2,500
賛助会員（個人）		3,000
”（団体）	1,000	1□3,000円で 3□以上



AOMORI
MUSIC
THERAPY
SOCIETY

編集後記

写真を提供いただいた団体の皆様にはお忙しい時期にもかかわらずご協力いただき誠にありがとうございました。会報は年に一度の発行ですが、今後も出来る限り研究会の活動をお伝えしていきたいと思います。(今村、佐々木、藤林、山口)

特定非営利活動法人 青森音楽療法研究会

〒030-0943 青森市幸畠1丁目9番5号 Tel:090-6258-7881 FAX:017-738-2639
メール mt_aomori@yahoo.co.jp ホームページ http://www.geocities.jp/a_o_r_k_2004/